

V-CUBE ミーティング

ご利用マニュアル



ブイキューブ

2010/12/02

この文書は、ウェブ会議「V-CUBE ミーティング」（以下、ミーティング）のユーザマニュアルです。

©2011 V-cube, Inc. All Rights Reserved.

更新履歴

更新日	内容
2010/12/02	動作環境欄変更
2010/08/31	オプションの記載を追加
2010/05/17	サービス名変更に伴い「nice to meet you ミーティング」を「V-CUBE ミーティング」に変更
2009/12/07	動作環境欄変更
2009/5/27	動作環境欄変更
2008/12/12	新規作成

カスタマーサポート (24時間365日電話受付)

 0570-00-2192e-メール : vsupport@vcube.co.jp

内容

1	本マニュアルについて.....	- 1 -
2	V-CUBE ミーティングとは	- 1 -
2.1	概要	- 1 -
2.2	ミーティングでできること.....	- 1 -
2.3	ミーティングの参加者とは.....	- 1 -
2.3.1	参加者	- 1 -
2.3.2	傍聴席	- 1 -
2.3.3	招待者	- 1 -
3	ミーティングを利用する前に.....	- 2 -
3.1	機器の準備	- 2 -
3.1.1	Web カメラとマイクを用意する.....	- 2 -
3.1.2	動作環境を確認する	- 2 -
3.1.3	結果を確認する	- 2 -
3.2	動作環境について	- 3 -
3.2.1	動作実績環境	- 3 -
3.2.2	推奨動作環境	- 4 -
3.2.3	機能別推奨動作環境	- 5 -

1 本マニュアルについて

本マニュアルは V-CUBE ミーティングの利用方法を示したマニュアルです。

2 V-CUBE ミーティングとは

2.1 概要

V-CUBE ミーティングは、複数地点にある PC や携帯電話を通信回線で結び、映像や音声、データなどのやりとりを可能とするウェブ会議システムです。本システムを利用することにより、遠隔地をリアルタイムの映像・音声でつなぐ双方向のビジュアルコミュニケーションが可能になります。

2.2 ミーティングでできること

- ・ 音声・映像を会議に参加している全拠点に配信
- ・ 資料を使つての会議
- ・ テキストチャットでのコミュニケーション
- ・ 傍聴席の設置 (オプション)
- ・ 専用機タイプのテレビ会議の連携が可能 (オプション)
- ・ 音声電話との連携 (オプション)
- ・ スマートフォンとの連携 (オプション)
- ・ 資料の配布
- ・ 会議内容の録画・視聴
- ・ デスクトップ画面の共有 (オプション)
- ・ 携帯電話との連携 (オプション)
- ・ iPad との連携 (オプション)

2.3 ミーティングの参加者とは

2.3.1 参加者

参加者は、映像・音声を全拠点に配信でき、ホワイトボードやテキストチャット、各種会議設定など、すべてのミーティング機能が無条件で使用できる権限を持ちます。すべての参加者が同等の権限を持ち、自由に操作することが可能です。

2.3.2 傍聴席

傍聴席は、会議を傍聴することができる機能です。しかし、参加者と違い、基本的には映像・音声の配信、各種機能の操作はできません。映像・音声の配信、各種機能の利用は承認制となっており、参加者が承認をすると、映像・音声の配信、各種機能の利用が可能です。

2.3.3 招待者

参加者が会議を予約した際に、特定の相手をメールでその会議室に招待ができます。招待者は、そのメールの本文にある URL をクリックするだけで、会議室に入室することができます。ID・パスワードの情報は必要ありません。

3 ミーティングを利用する前に

3.1 機器の準備

3.1.1 Web カメラとマイクを用意する

ミーティングでは双方向の映像・音声の送受信が可能です、ウェブカメラやマイク、ヘッドセット、スピーカーをご用意ください。

注意1. 推奨のウェブカメラやヘッドセットについては、弊社ウェブサイトをご覧ください。担当までお問い合わせください。

3.1.2 動作環境を確認する

会議を始める前に動作環境の確認を行ってください。インターネット回線がつながっているパソコンで Checker2 を利用すると、動作環境の確認が行えます。Checker2 はメインページにある「ツール・マニュアルダウンロード」よりダウンロードすることができます。

3.1.3 結果を確認する

Cchecker2 で動作環境を測定した後、結果画面が表示されます。お使いのパソコンとインターネット回線の状態が、ミーティングを利用する環境に適しているかどうかご確認ください。

注意1. Checker2 の結果の詳しい見方については、別資料をご用意しております。お手数ですが、カスタマーサポートセンターまたは営業担当までお問い合わせください。

3.2 動作環境について

3.2.1 動作実績環境

ミーティングの動作実績をご案内いたします。

Windows Vista の場合

- <CPU>Core2Duo 1.2Ghz 以上
または上記に相当以上の CPU
- <有効/搭載メモリ>1GB 以上
- <VRAM>64MB 以上
- <回線速度 > 下り:384kbps 以上、上り:128kbps ※2
- <ブラウザ>IE7 以上、FireFox2 以上 ※3

WindowsXP、2000 の場合

- <CPU>PentiumIII 1.0GHz 以上、PentiumM 1.2GHz 以上
上記に相当以上の CPU
- <搭載メモリ>256MB
- <VRAM>32MB 以上
- <回線速度 > 下り:384kbps 以上、上り:128kbps ※2
- <ブラウザ>IE6 以上、FireFox2 以上 ※3

MacOS X (10.4 以上) の場合

- <CPU>PowerPC G4 1.67GHz 以上
または上記に相当以上の CPU
- <回線速度 > 下り:384kbps 以上、上り:128kbps ※2
- <ブラウザ>Safari2 以上、Firefox2.0 以上 ※3

※上記は弊社での検証の結果を元にしたものであり全ての環境での動作を保証するものではありません。
また、Windows ME/98/NT、Mac OS9 系に関して、動作保証はできませんが、一部での動作実績がございます。

注意1. 有効メモリとは、システム上使用されていない使用可能なメモリ領域を指します。

注意2. プロキシが不在もしくはバイパス処理してあること。回線速度が環境以下でも接続可能ですが、画質が低下します。
光回線を推奨しますが、遅延を気にされなければ、下り：64kbps 程度でも可能です。なお、こちらに掲載している回線速度は映像・音声の通信に必要な帯域となります。ホワイトボード機能やキャビネット機能等のやりとり等によって記載以上のデータ転送量が一時的に発生することがあります。

注意3. 最新版の Flash Player がインストールされている必要があります。

注意4. Sharing3 は、Windows、Macintosh にてご利用いただけますが、Macintosh は受信のみの対応となります。

注意5. 推奨環境下でもホワイトボードへの資料貼込みが 100 枚を超えた場合は、動作が不安定になることがあります。また、既に大量の資料が貼込まれた状態で後から入室すると、入室までに時間がかかったり、正常にご利用頂けない場合があります。

注意6. 動作実績環境に求める定義は以下の通りです。

- ・映像・音声のみの機能を利用し、映像音声に遅延・とぎれ等がないこと

注意7. 推奨環境に求める定義は以下の通りです。

rtmp 通信下において、

- ・ネットワークを理由としない映像・音声の遅延が平均 0.5 秒以内を維持すること
- ・各操作が 2.0 秒以内に反応すること

3.2.2 推奨動作環境

ミーティングが正常かつスムーズに動作する環境をご案内いたします。(高画質オプション・デスクトップ共有オプション※4を含む)

Windows7、Vista の場合

<CPU>Core2Duo 1.66GHz 以上

または上記に相当以上の CPU

<有効※1/搭載メモリ> 1GB/2GB 以上

<VRAM>256MB 以上

<回線速度 > 下り:512kbps 以上、上り:256kbps 以上 (※高画質利用時 下り:768kbps 以上、上り:256kbps 以上) ※2

<ブラウザ>IE7、IE8、FireFox3 以上 ※3

WindowsXP、2000 の場合

<CPU>Pentium4 3.0GHz 以上、PentiumM 1.73Ghz 以上

または上記に相当以上の CPU

<有効※1/搭載メモリ> 512MB/1GB 以上

<VRAM>64MB 以上

<回線速度 > 下り:512kbps 以上、上り:256kbps 以上(※高画質利用時 下り:768kbps 以上、上り:256kbps 以上) ※2

<ブラウザ>IE6、IE7、IE8、FireFox3 以上 ※3

MacOS X (10.4 以上)の場合

<CPU>CoreDuo 2.0GHz 以上

または上記に相当以上の CPU

<回線速度 > 下り:512kbps 以上、上り:256kbps 以上(※高画質利用時 下り:768kbps 以上、上り:256kbps 以上) ※2

<ブラウザ>Safari2 以上、FireFox3 以上 ※3

※上記は弊社での検証の結果を元にしたものであり全ての環境での動作を保証するものではありません。また、Windows ME/98/NT、Mac OS9 系に関して、動作保証はできませんが、一部での動作実績がございます。

注意1. 有効メモリとは、システム上使用されていない使用可能なメモリ領域を指します。

注意2. プロキシが不在もしくはバイパス処理してあること。回線速度が環境以下でも接続可能ですが、画質が低下します。

光回線を推奨しますが、遅延を気にされなければ、下り：64kbps 程度でも可能です。なお、こちらに掲載している回線速度は映像・音声の通信に必要となる帯域となります。ホワイトボード機能やキャビネット機能等のやりとり等によって記載以上のデータ転送量が一時的に発生することがあります。

注意3. 最新版の Flash Player がインストールされている必要があります。

注意4. Sharing3 は、Windows、Macintosh にてご利用いただけますが、Macintosh は受信のみの対応となります。

注意5. 推奨環境下でもホワイトボードへの資料貼込みが 100 枚を超えた場合は、動作が不安定になることがあります。また、既に大量の資料が貼込まれた状態で後から入室すると、入室までに時間がかかったり、正常にご利用頂けない場合があります。

注意6. 動作実績環境に求める定義は以下の通りです。

- ・映像・音声のみの機能を利用し、映像音声に遅延・とぎれ等がないこと

注意7. 推奨環境に求める定義は以下の通りです。

rtmp 通信下において、

- ・ネットワークを理由としない映像・音声の遅延が平均 0.5 秒以内を維持すること
- ・各操作が 2.0 秒以内に反応すること

3.2.3 機能別推奨動作環境

20 人レイアウト（デスクトップ共有あり）の推奨動作環境をご案内いたします。

Windows7、Vista の場合

- <CPU>Core2Duo 1.66GHz 以上
- または上記に相当以上の CPU
- <有効※1/搭載メモリ> 1GB/2GB 以上
- <VRAM>256MB 以上
- <回線速度 > 下り:1Mbps 以上、上り:256kbps 以上※2
- <ブラウザ>IE7、IE8、FireFox3 以上 ※3

WindowsXP、2000 の場合

- <CPU>Pentium4 3.0GHz 以上
- または上記に相当以上の CPU
- <有効※1/搭載メモリ>512MB/1GB 以上
- <VRAM>64MB 以上
- <回線速度 > 下り:1Mbps 以上、上り:256kbps 以上※2
- <ブラウザ>IE6、IE7、IE8、FireFox3 以上 ※3

MacOS X (10.4 以上)の場合

- <CPU>CoreDuo 2.0GHz 以上
- または上記に相当以上の CPU
- <回線速度 > 下り:1Mbps 以上、上り:256kbps 以上※2
- <ブラウザ>Safari2 以上、FireFox3 以上

※上記は弊社での検証の結果を元にしたものであり全ての環境での動作を保証するものではありません。
また、Windows ME/98/NT、Mac OS9 系に関して、動作保証はできませんが、一部での動作実績がございます。

注意1. 有効メモリとは、システム上使用されていない使用可能なメモリ領域を指します。

注意2. プロキシが不在もしくはバイパス処理してあること。回線速度が環境以下でも接続可能ですが、画質が低下します。
光回線を推奨しますが、遅延を気にされなければ、下り：64kbps 程度でも可能です。なお、こちらに掲載している回線速度は映像・音声の通信に必要な帯域となります。ホワイトボード機能やキャビネット機能等のやりとり等によって記載以上のデータ転送量が一時的に発生することがあります。

注意3. 最新版の Flash Player がインストールされている必要があります。

注意4. Sharing3 は、Windows.Macintosh にてご利用いただけますが、Macintosh は受信のみの対応となります。

注意5. 推奨環境下でもホワイトボードへの資料貼込みが 100 枚を超えた場合は、動作が不安定になることがあります。また、既に大量の資料が貼込まれた状態で後から入室すると、入室までに時間がかかったり、正常にご利用頂けない場合があります。

注意6. 動作実績環境に求める定義は以下の通りです。

- ・映像・音声のみの機能を利用し、映像音声に遅延・とぎれ等がないこと

注意7. 推奨環境に求める定義は以下の通りです。

rtmp 通信下において、

- ・ネットワークを理由としない映像・音声の遅延が平均 0.5 秒以内を維持すること
- ・各操作が 2.0 秒以内に反応すること

以上